

幼児教育学科

幼児教育学科では、キリスト教的人間観を理解し、
 幼児一人一人の個性を認め、
 個に応じた専門的指導と高い実践力で
 保育、教育、地域の子育て支援に関わる
 保育者・教育者を養成します。
 他者を価値ある存在として尊重して
 子どもを取り巻くさまざまな人々と協働し、
 地域に広く貢献できる保育者・教育者を目指します。



Let the little children come to me, and do not hinder them,
 for the kingdom of God belongs to such as these.

子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。
 神の国はこのような者たちのものである。

—マルコによる福音書 10章14節—

養成する人材像

キリスト教的人間観を理解し、幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設等における保育や教育、地域の子育て支援を専門的に担い、子どもたちが自分の個性を発揮し、成長することに寄与する専門的知識と高い実践力を備えた保育者・教育者を養成する。

学びのポイント

01 子どもの非認知的能力を育てる実践力の養成

プレ実習から始まり実習、インターンシップに続く、段階を踏んだ独自の实習プログラムにより、子どもの「目標を決めて取り組む」「意欲を見せる」「新しい発想をする」「人と円滑なコミュニケーションをとる」などの能力を育てる実践力を養成します。



02 子どもと保護者、地域に寄り添う課題解決型学習の実践

キャリアデザイン科目による体験学習やフィールドワークなど、学内外での主体的活動や基礎ゼミ、プロゼミ、専門ゼミを通して、体系的に課題対応能力・対人対応能力を高めます。



03 子どもの多様な個性に応えるインクルーシブ保育の修得

インクルーシブ保育とは、多様性が受け入れられ、異なるものが共にあることで生み出される豊かさをすべての子どもたちと周りの人たちが受け取る保育です。「特別支援教育論」「子どもの理解と援助」などの専門科目と各ゼミの演習などを通して、子どもの多様性を認めるインクルーシブ保育を修得します。



取得可能な免許・資格

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- 小学校教諭一種免許状

※小学校教諭一種免許状は、一定のGPA以上の者に限り履修を認めるものとする。

ステップアップ・プログラム 高度な保育者養成プログラム

実習を中心とした体験学習によって、子どもを「観る」「関わる」「理解する」から、「将来の職場について考える」「自分の強みを生かした保育」といった一つ一つ段階的に高次な学びへと確実にステップアップできるように体系化されたプログラムです。学生がそれぞれ課題を持って体験学習に取り組むことで、一人一人が強みを持った特徴ある保育者になることを目的としています。また、英語を話す楽しさを伝え「子どもの意欲を育てる保育者」の育成を目指します。

幼児教育学科 アドヴァンスト・プログラム

あなたのやる気と能力に応えるアドヴァンスト・プログラムを用意しました。

通常取得可能な免許

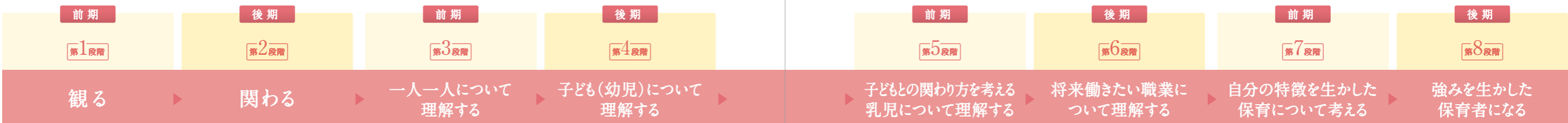
幼稚園教諭一種免許・保育士資格

小学校教諭一種免許

より強みのある
保育者に!

アドヴァンスト・プログラムの詳細は [次ページへ](#)

1年次 2年次 3年次 4年次



このプログラムの特徴の一つは、1年次前期から将来働きたい職場について見学、参観できるという点です。これは幼稚園、小学校、中学校、高等学校と全学校種が揃っている、日本海側で唯一のキリスト教総合学園だからできるプログラムです。この段階では、子どもを間近に観て、保育者になろうという意欲が高まります。また、幼稚園、保育所、認定こども園を卒園した子どもたちがどのように育っていくかを考えることができます。



第1段階で高まってきた意欲をもって子どもと関わる体験をします。子どもたちが遊び学んでいく様子を、関わりを通して考えることで実際にどうすればよりよい関わりができるかを検討することにつながります。また、子どもの発達段階、子どもへの声掛け、教材作り、環境構成など、学んでみたいことが具体的にになってきます。さらには、子ども一人一人と関わることの重要性についても考えることができます。



この段階では、児童福祉関連施設などの実習に出る準備を十分に行った上で、施設での実習を経験します。多様な背景がある子どもや利用者との関わりは、特に一人一人の特徴を把握することが必要です。そして、誰一人として同じ人がいないこと、その違いを体験しその特徴によって関わり方を工夫する必要があることを学びます。この実習を通して対人援助職として必要な、対象者理解を深めていきます。インクルーシブな保育についても考えることができます。



第3段階の施設実習で得られた対象者理解に加え、一人一人にとって今のような学びが必要であるかを考えます。一人一人学ぶ内容も違えば、学ぶ速度も異なります。その学びが日々の遊びを中心として園生活を通してどのように達成されていくか、その指導や支援の重要性について考えます。幼稚園での実習では、意欲や忍耐力、強固性など、子どもの非認知能力を高めるための工夫について学ぶことができます。



この段階では、子ども一人一人にどう寄り添い、子どもの力をどう引き出すか、それが保育専門職の醍醐味の一つです。子どもに遊びをさせるのではなく、子ども自身が遊びたくなるような環境をどう構成するか、どういう言葉掛けで遊びが発展するか、子ども同士の学びにどのように関われば子どもの非認知能力が高まるのかを考えます。実習園の保育に積極的に参加することで、保育の楽しさ、保育者の喜びが理解できるようになります。



この段階では、自分の働いてみたい職場に分かれて、それぞれの業務について更に深く理解します。また、これまでの実習を通して得られた専門的知識と技能について再確認し、その職場に就くまで、自分は何のような力を高め、どのような力を補っていききたいかという点について具体的に理解します。その理解を通して、自分がどのような保育を目指すのかを考える機会を持つことができます。



すべての授業や実習で得られた学びを通して、ディプロマ・ポリシーである「幼児教育において、保育者・教育者の役割や職務内容を良く理解している。」「子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子ども一人一人の個性を認め、個に応じた専門的指導と養育が実践できる。」「子どもの育ちや発達に関する専門的知識に基づき、子どもや保護者に寄り添って自らの保育観、子ども観を自分の言葉で語るができる。」について考えます。そして、自分の言葉を保育の場で働く方々に対してどう伝えていくかを考えます。



まとめの科目として「教職実践演習」、社会人基礎力として外部アセスメントテストを実施し、両面から自分を振り返ることで、卒業後の自分をさらに具体的にイメージします。専門ゼミレポート・卒業研究を完成させることで更なる研究課題に向けて学び続ける保育者、自分の強みを生かして、子どもと地域社会を支える保育者へと成長します。

科目紹介

■ 地域社会と子ども

教育学部共通の必修科目で、それぞれ課題をもって将来働く職場を学校種ごとに見学、参観します。この科目で卒業後働く自分をイメージすることができます。

■ キャリアデザイン I

これまでの自分を振り返り、自己分析を行い、4年後を見据えて大学における学ぶ意義を考えた上で、これからの人生設計について学びます。

科目紹介

■ 特別支援教育論

インクルーシブ保育は、多様性が受け入れられ、異なるものが共にあることで生み出される豊かさをすべての子どもたちと周りの人たちが受け取る保育であることを学びます。

■ キャリアデザイン II

キャリアデザイン I に続き、放課後児童クラブ(学童保育)や公民館イベントなど、子どもと関わる活動を体を通して子ども理解に努めます。

科目紹介

■ 保育実習指導 I (施設) 保育実習 I (施設)

配属された児童福祉関連施設などで実習を経験することで、一人一人と関わるの意味について考えます。

■ 発達心理学

人間がどのような発達過程をたどるかを理解することは、保育に携わる上で重要な視点です。乳幼児期から青年期を中心に、人間の心理的発達のしくみについて学びます。

科目紹介

■ 教育実習指導 I (幼)、教育実習 I (幼)

一人一人と関わることを学んだ力を幼稚園、認定こども園で発揮します。子ども一人一人が学ぶだけでなく、子ども同士が関わることで生まれる学び合う力を育む場面や子どもが保育者との関係から学びが促進されていく場面について考えます。

■ 保育者論

保育専門職としての定義や制度、保育者の職務内容と求められる役割、保育者の専門性について学びます。

科目紹介

■ 保育実習指導 II (幼) 教育実習 II (幼)

個から集団を見る目を養い、今度は自分が子どもの成長と学びにどのように関わっていくかを、一日実習を体験しながら考えます。

■ 保育実習指導 I (保育所) 保育実習 I (保育所)

主に3歳未満児のクラスで約11日間の実習を行います。観察実習から入り、参加実習、そして保育の一部を担当する部分実習までを行います。

科目紹介

■ 保育実習 II

幼稚園、保育所、認定こども園で働きたい人は、乳児期から幼児期の子どもの学びや成長発達を支えるために、自分の特徴を生かして関わっていくことを理解します。

■ 保育実習 III

児童福祉関連施設、障害者支援施設で働きたい人は、家庭で生活できない子どもや障害のある子どもなど利用者の生活を支えるために、自分の特徴を生かして関わっていくことを理解します。

科目紹介

■ 保育特別講座

(課外)幼稚園、保育所、認定こども園、施設の園長・施設長をお招きして、就職活動の心得や模擬面接、模擬実技を担当していただきます。この講座を受講することで、就職活動を具体的に意識して、自分の特徴を生かした職場に就く準備ができるようになります。

■ 幼児理解

子ども理解に関するまとめの科目です。遊び・生活の実践を通しての幼児理解、保育実践をエピソードから観察すること、子ども理解の心理的手法などを学びます。

科目紹介

■ 教職実践演習

4年間の学びを振り返り、身に付いた知識と技能を整理し、保育者としてのこれからの課題について考える機会を持ちます。

■ 専門ゼミ II・卒業研究

専門ゼミ I から継続して研究してきた成果をレポートにまとめます。卒業研究を履修する人は、研究成果を論文形式で執筆し、卒業研究発表会で発表します。

子どもと気持ちを共有できる保育者を目指します

宮本 日向彩さん 4年 [石川県立金沢伏見高等学校出身]

3年次にエプロンシアターを製作して実習先で実演しました。子どもの反応を見て工夫点や実演方法、環境を変えて取り組んだことで子どもの姿を想像する力がついたと実感しています。また、自分が本当に好きなもの、子どもたちと一緒にしたいと思うもの、子どもに伝えたいことなど、自分自身も楽しめるものを選ぶ大切さも理解できるようになりました。この学びを生かし、将来は子どもと共に五感を働かせながら気持ちを共有できる保育士を目指します。



実習を行うたびに学びが深まり、視野が広がります

平山 ななさん 4年 [石川県立金沢伏見高等学校出身]

伝統と実績のある大学で幼児教育について深く学びたいと思い、この学科を選びました。これまでさまざまな実習を経験し、自分が作成した指導計画に対する子どもたちの反応を見て試行錯誤を繰り返すうちに、自分なりに子どもたちとの関わり方を見つけれられるようになりました。また、挑戦することの大切さと一人一人の性格や個性を尊重した援助の仕方も学ぶことができました。将来は子どもの気持ちや個性を尊重し、学ぶ姿勢を忘れない保育者を目指します。



Pickup Study

幼児教育学科アドヴァンスト・プログラム

小学校教諭一種免許も取得できる「アドヴァンスト・プログラム」を新設

幼児教育学科では、これからの幼保小連携接続に対応できるスペシャリストを養成するために、もう一つの免許が取得できる「アドヴァンスト・プログラム」を新設します。対象は、学業成績が一定以上の基準を満たす学生です。このプログラムにより、幼児教育学科を卒業しても小学校教諭一種免許を取得して働くことが可能です。幼稚園教諭一種免許、保育士資格の組み合わせに加えて、小学校教諭一種免許も取得することで、学びの幅と将来の可能性がさらに広がります。

(入学後、学業成績が学科の定める基準に達したものに限り)



より強みのある保育者に！

通常取得可能な免許 + 幼稚園教諭一種免許・保育士資格 + 小学校教諭一種免許

特徴ある支援システム

地域の親子と関わり、主体的に学ぶ「赤ちゃん・サロン」

0歳から3歳までの地域の子どもとその保護者を対象に、北陸学院大学が地域に開放している「赤ちゃん・サロン」。サロンの運営は学生が主体となり、保護者の理解を得たうえで講義や実習で学んだ知識を実践します。実際の赤ちゃんから乳幼児の身体と心の発達を学び、赤ちゃんに対する保護者の思いにも触れながら、授業や教育実習では体験できない貴重な気づきを得る場としています。



保育教材の活用法をサポートする「教材研究支援」

保育教材に精通したスタッフが各教材の解説や実技をサポートしています。歴代卒業生が制作した教材は、実習だけでなく、保育者になっても使用することができます。また、実習に関する助言や手続きなども支援し、同じ志を持つ学生同士の絆を強めています。



ネイティブスピーカーが常駐する「English Center」

「苦手を好きに、好きを強みに」をモットーに、常駐のネイティブスピーカーによる支援で英語が楽しく学べる各種講座を用意しています。身に付けたい分野・領域別に自由に講座を選択して受講し、子どもの英語学習に対する意欲を育てる保育者を目指します。



卒業生の声

公立保育園の保育士になる夢をかなえました

能美市立辰口保育園 中田 美樹さん
2020年卒業 [石川県立大聖寺高等学校出身]

幼い頃から地元の保育士になることが夢で、在学中は授業や実習に加えて公務員試験講座も受講しました。採用試験の前には学生支援係の方から面接練習などのサポートもいただきました。卒業後は目標だった公立保育園の保育士になり、現在は能美市内の保育園で3歳児の担任をしています。保育士の仕事は、トイレトレーニングなどの生活面の援助から季節ごとの行事など、1年を通じてさまざまな業務があります。運動会や発表会の前はとても大変ですが、その分やりがいも感じられます。どんな時も笑顔を忘れず、子どもの興味や発達に応じた保育ができる保育士でありたいと思っています。



子どもたちの日々の成長が私の喜びです

こども園わかば 山本 瑞季さん
2021年卒業 [石川県立野々市明倫高等学校出身]

手作りの誕生日カードや運動会のメダル、炊きたてのごはんをいただく給食など、愛情深い先生方と子ども想いの園の方針に共感し、在学中に実習でお世話になった園に就職しました。1年目の時は2歳児クラスを担当しました。4月5月は慣れない環境に不安を覚えて泣いたり玩具をひっくり返したりしていた子どもたちが、1年を通してできることがどんどん増えて成長し、「できたよ!」と一つ一つ笑顔で知らせてくれることが嬉しく、やりがいを感じています。子どもの成長は本当に早いので、子どもたちのそばで成長を見守ることができる保育士になって良かったと実感します。

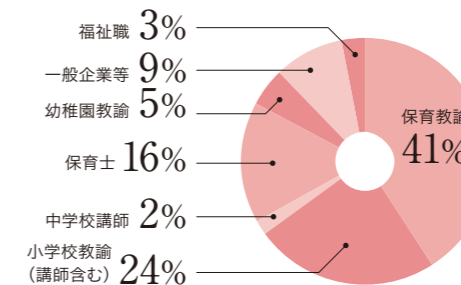


就職実績

就職率 2021年度

100%

内定者内訳 2021年度



公立保育士採用試験 合格率(現役) 過去3年間の合計

64.3%

2019年度 66.7% 2020年度 100% 2021年度 55.6%

2021年度 主な就職先

福井県済生会乳児院、となみ中央福祉会、藤ノ木こども園、くるみ保育園、かわい幼稚園、小陽羽里こども園、エンジェル保育園、わかばこども園、すこやかこども福祉会、田上こども園、かみやちこども園、ほのみこども園、めぐみこども園、大徳学園、金石幼稚園、ひまわりこども園、かもめこども園、津幡とくの幼稚園、羽咋白百合幼稚園、ベネッセスタイルケア、和光幼稚園、浜岡幼保園、ミドリの杜こども園、みなとこども園、鶴来第一幼稚園、聖愛幼稚園、保育所ミライのひろば、北陸学院幼稚園、末こども園、清泉幼稚園、さくら保育園、児童養護施設育松園、社会福祉法人伊奈美園、松原愛育会、北陸ミサワホーム、スギムラ精工、北陸コンピュータ・サービス、OVERRIDE 金沢、金城交通、金沢有松病院